

JAL 争議の早期解決
目指す要請ハガキ
団体署名にご協力を!

フェニックス

PHOENIX

＜発行者＞
 航空安全推進連絡会議 03-3742-9359
 航空労組連絡会 03-3742-3251
 日本乗員組合連絡会議 03-5705-2770
<http://www.kohkuren.org/>

世界のパイロットが様々な議題を討論



各国から500人が参加した総会

第74回 I F A L P A 総会

ALPA Japan 代表が参加

安全性向上 ベルリン宣言を採択

国際定期航空操縦士協会連合会（IFALPA・世界104の国と地域から10万人以上のパイロットで構成）は第74回 IFALPA 総会を4月26日～29日の間、ドイツ・ベルリンで開催しました。総会には各国の代表者約500人が集まり、日本からは ALPA Japan の代表者が参加しました。参加した館野議長に総会の模様を聞きました。

今回オーストラリアも加わったことは非常に意義のあるもので、今後日本での実現が期待されます。次に緊急対応フラン（ERP）についてです。事故発生後の対応や影響について発表が行われました。特にメデアコントロールでは、専門家の立場で平時時に準備をしておくこと、事実や確認した内容のみを公表し、奇異な質問や突飛的な記事などにも、英語での対応に目頃から準備しておく重要性が紹介されました。欧州パイロットのインシアチブからは、ジャーナリストの事例後の対応の詳細が報告されました。当時メデアファンデーションという体制がとられ、組合と会社と当局が連携し、復帰までのプログラムや費用に関して責任を持つて実施しています。

総会には ALPA Japan の代表者も参加しました。4日間わたる総会では様々な議題が討議されました。特徴的なテーマについて紹介しましょう。

まず、オーストラリア運輸安全委員会（ATSB）とオーストラリア ALPA との間で、事故調査に関する覚書が締結されたとの報告がありました。すでに米国・カナダ・イギリスなど欧米先進国では、当該国の事故調査機関と地元 ALPA との間で「事故調査への ALPA の参加」に関する取り決めがされています。

ALPA との間で、事故調査への ALPA の参加に関する取り決めがされています。ALPA との間で、事故調査への ALPA の参加に関する取り決めがされています。

ALPA との間で、事故調査への ALPA の参加に関する取り決めがされています。ALPA との間で、事故調査への ALPA の参加に関する取り決めがされています。

19夏闘

間近に迫る首都圏発着枠拡大 職場改善に向け交渉本格化

2面

築き上げたネットワーク活発に

数々の機関がありました。多くの意見が出たことは、またまた未解決の問題があることを意味します。IFALPA は課題とインフラ投資に関して条件付きで身体検査を適当とする内容が提出されました。内容としては「インスリンによる血糖値の適正なコントロールができれば適白」となっています。この提案はカナダやイギリスでの適合事例を踏まえ、各国で求める声が大きかったという背景があります。

女性パイロットワークイングループでは、飛行前準備多忙にもかかわらず業務が中断され、ボーディングフリッジや待合ロビーから検査の様子が見え、この点に対して、秘匿性の懸念からシンガポール ALPA は反対の姿勢を示しています。その一環として、HIMS（アルゴリズムカウンセセリング窓口）を設立し、チャット窓口には乗員専用のクリニックが開設されました。

身体検査については IFALPA のポリシー変更が提案され、「糖尿病とインスリン投与」に関して条件付きで身体検査を適当とする内容が提出されました。内容としては「インスリンによる血糖値の適正なコントロールができれば適白」となっています。この提案はカナダやイギリスでの適合事例を踏まえ、各国で求める声が大きかったという背景があります。

女性パイロットワークイングループでは、飛行前準備多忙にもかかわらず業務が中断され、ボーディングフリッジや待合ロビーから検査の様子が見え、この点に対して、秘匿性の懸念からシンガポール ALPA は反対の姿勢を示しています。その一環として、HIMS（アルゴリズムカウンセセリング窓口）を設立し、チャット窓口には乗員専用のクリニックが開設されました。

■主な記事から■

- ▶ 夏一時金・増便対応・勤務など労働環境の改善急務。米運輸省が羽田の暫定配分公表 2面
- ▶ 客乗連、高稼働による労働強化は是正求め厚労省・国交省に要請 2面
- ▶ ソラシドエア不当労働行為事件、手続き終了。安全運航・良好な労使関係に努力 2面
- ▶ JAL 解雇争議一取組み強め株主総会までに解決迫ろう 3面
- ▶ 「55年前の過ちを繰り返さない」—2019 グラハンセミナーを開催 3面
- ▶ 安全会議、臨時総会で2019年対官庁要請を確認 4面

労働相談は航空連に
 03-3742-3251
 e-mail/honbu@kohkuren.org

労働者改革
 連法施行から2
 月。法の施行
 にあわせ航空客
 社でも働き方の
 見直しが進められて
 おり、春闘回答にも示
 されました。フラ
 ンクな働き方
 があれば職場から
 も告発する声があ
 がり始めていま
 す。●関連記事は
 「長時間労働の正
 法」で柔軟な働き
 方の実現、雇用形
 態にかかわらず
 ない公正な待遇の
 確保」などが謳わ
 れています。改
 善が遅々として進
 んでない状況もあり
 ます。そのひとつ
 が休憩時間。労
 働基準では1日の
 労働時間が6時間
 を超えない場合、
 8時間を超えた
 場合は1時間の休
 息をとらなければ
 なりません。こ
 ろろが拡大する
 事業計画に見合
 った人員計画に
 なっていないこと
 が、勤務スケジュール
 は稼働率になり、
 そのしわ寄せは「休
 眠時間が削られて
 いる」といった
 声に。アンケート
 によると、グランド
 リンク職場では約
 4割が決めた休憩
 時間が取られてい
 ない。客乗業務員
 の職場でも休憩時
 間が確保されてい
 るという声があ
 りますが、比例し
 て客乗業務員の長
 時間勤務傾向に
 あり、8時間休
 息を必要といた
 った報告も。経済
 性に偏った働き
 方が過労死や腰痛
 など多くの労働
 災害を生み出さ
 ないことを求めま
 す。



厚労省で要請内容を説明する客乗連（左側）

客乗連

高稼働による労働強化は正
厚労省・国交省に要請

航空運送業連合会（略称：客乗連）は、客室乗務員の高稼働による労働強化が強まるなか、この状態を放置すれば保安要員としての乗客の安全を守る任務に支障をきたしかねないとの認識から、5月21日に厚労省と国交省を訪ね、労働環境の改善に向けた監督・管理を求める要請を行いました。要請には前田客乗連事務局長や客乗労組関係

者4名が参加しました。厚労省には、①客室乗務員の業務上の特性（時差や完全徹夜業務、シフト勤務者より不規則な出勤・退社になる勤務など）を考慮し、深夜パターン・国際線日帰りのパターン・一連統（スクリフト）パターン・国内線長時間勤務パターンなどにおいて十分な休養・休日が取れるよう、各社に対し指導する。②機内では「業務からの完全な隔離」がなされるため、乗務中の「レスト」(交替での着席・横臥等)は休憩には該当しないが、安全衛生法的主

旨に則り、特別な配慮が必要であることを各企業に理解させ、機内で確実なレストが取れる施設（場所）と時間を確保するように指導する。③業務からの完全な隔離を阻害する休日の有る会社や上司からの電子メール等による配信・受信に関する規定を設ける。④3項目です。厚労省担当者では「働き方関連法の施行で会社にはきちんとした時間管理が求められる。休憩は労働の途切しと与えなければならない。電子媒体の確認は、確認が業務指示であれば労働にな

ると答えました。国交省には、①航空客社に対し、「客室乗務員の業務制は、客室乗務員の職に支障を生じないよう定める」とした航空法第14条の指導・管理。②業務前後並びに乗務中、倒れた事例・亡くなった事例について、国交省の責任のもと各企業に詳細を報告させ改善・指導する。③客室乗務員の職場にも早急に疲労リスク管理（FRM）を導入する。④客室乗務員が乗客の安全（命）を守り、保安任務を果たすため、国は法的

と答えました。国交省には、①航空客社に対し、「客室乗務員の業務制は、客室乗務員の職に支障を生じないよう定める」とした航空法第14条の指導・管理。②業務前後並びに乗務中、倒れた事例・亡くなった事例について、国交省の責任のもと各企業に詳細を報告させ改善・指導する。③客室乗務員の職場にも早急に疲労リスク管理（FRM）を導入する。④客室乗務員が乗客の安全（命）を守り、保安任務を果たすため、国は法的

KLM aangeklaagd wegens discriminatie



掲載された記事。テレグラフ紙WEBサイトより

KLMオランダ航空の雇止めは無期転換と、契約制日本人客室乗務員が雇止め撤回を求めている裁判は5月16日、東京地裁で第2回裁判が行われました。この日の裁判は、第1陣19名の原告代表は、勤務期間が8年におよび、9名のうち6名の勤務期間が通

一時金・増便対応・勤務

ANA				JAL		
17年度	18年度	19年度		19年度	18年度	17年度
19,717	20,583	21,500	売上高	15,630	14,872	13,832
1,645	1,650	1,650	営業利益	1,700	1,761	1,745
1,606	1,566	1,600	経常利益	1,710	1,653	1,631
1,438	1,107	1,080	純利益	1,140	1,508	1,354

19年度は見通し。単位：億円

18年度決算確定により全日空・日本航空ともに18年度の期末手当（一時金）を上げました。JALグループ各社も

も確定。全日空は6月12万円、日本航空は1・9万円となりました。19年度の夏季・時金は春闘で回答が出された全日空は2・15万円、日航は2万円を提示しています。日航グループが中心に進められ、日航グループは3・0万円以上を統一要求に上げ、土日に祝手当の新設、年末年始手当の増額、法定3手当の割増率アップ、人員増など春闘要求を継続要求。日航ユニオンは航空従事者手当（新設）、日航乗組員賃金制度（職責手当）の引上げを要求します。JALグループ各社は、18年度に一時金を3回に分割した期末一時金1・9万円の支給が6月10日にあります。18年末一時金が2万円と低額であったことから、苦しい生活面からはほっと息。当面は一時金の業績連動型分配の是非を考える必要がありそうです。成田空港で外航のハンドリングを行うJAS新

JCU

たくさんのご支援
ありがとうございました

安全運航・良好な労使関係に努力

ソラシド不当労働行為事件手続き終了

労組は夏季一時金2・56万円を要求します。全日空乗組は夏闘で出向問題や副機長の育成環境など交渉を進めます。ANA乗組（旧エアニッポン乗組）は今後の組織体制などを協議していきます。外航では、英国航空

労組が年間6月、NW労組（デルタ航空）が年間5月、ユナイテッド航空労組は年間6月。一部労組では賃上げ交渉が長期化しています。JAL解雇争議の解決を求め取り組んで、5月30日にはJAL本社

前行動が、6月10日から14日まで本社前での座り込みが取り組まれます。6月18日のJAL株主総会までの取り組みを、強め解決に向けた決断を迫ります。2020年の首都圏発着枠拡大については、米

運輸省は米国土4社（デルタ路線、ユナイテッド4路線、アメリカン路線、ハワイアン路線）に羽田路線の暫定配分を求め、夏闘は短期間ですが山積する課題の解決に力一杯取り組みます。

をいたしました。ありがとうございました。今後も働きやすい労働環境を求め取り組んでまいります。とお礼を述べました。

原告が意見陳述

KLM雇止め撤回裁判

うな第三者機関に判断をゆだねる案件が再び発生するのではないかという、互いの立場を尊重し、話し合いを基本として

良好な労使関係の構築に努力する」と都府委に約束しました。木谷JCU委員長は「組合員に対する不当労働行為は、労使関係の安定が安全運航に資するとし、良好な労使関係にむけお互いが努力することを約束し、手続きを終了しました。本件では多くの皆様にご支援

KLMが日本で行った無期転換後の雇止めは、オランダ本国でも注目されています。オランダの大手新聞「テレグラフ」は、「KLM、差別で訴えられる」（5月7日付）の見出しで原告と弁護士の取材記事を掲載しました。

株主総会までに解決の決断迫ろう！



山梨県JR甲府駅前からスタートした関東キャラバン。5月20日

4月24日、JALで赤坂社長出席の経営協議会が開催された。争議解決に向けた特別協議の場で示された経路採用について、キャビンクルーユニオン(CU)から応募した2人が不採用になったことを問われた社長は「残念だ。また一緒に働きたいという気持ちは変わらない。応募して欲しい」と答えた。一日も早く解決したいと述べた昨年5月から1年。会社から解決

5月1日は第9回ミーデー。「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」の下、全国294カ所で開催された。JAL原告団は全国22カ所のミーデーに47人が参加。争議解決はもう一人、労働者が安心して働ける社会をめざすために、多くの仲間と連帯を深めてきました。デモ行進のシチュエーションに「JAL争議に勝利しよう」を入れた地域、集会で訴えや物販の場を設けてくれた地域など、様々な形でJ

JAL解雇争議

JAL本社前 5月10日～14日 (12日降く)

4月24日、JALで赤坂社長出席の経営協議会が開催された。争議解決に向けた特別協議の場で示された経路採用について、キャビンクルーユニオン(CU)から応募した2人が不採用になったことを問われた社長は「残念だ。また一緒に働きたいという気持ちは変わらない。応募して欲しい」と答えた。一日も早く解決したいと述べた昨年5月から1年。会社から解決

争議解決を決定させるための激励の声が寄せられ、各種取り組みにも多くの参加がありました。4月22日～26日の日程で1年2カ月ぶりに行われた東京有楽町のJALプラザ前座り込み(26日は激しい風雨で中止)。

約194人の支援者が駆けつけ、配布ビラは千枚に上りました。JALプラザ前の歩道は、お昼休みのビジネスマンだけでなく、様々な人々が行き交います。横断歩道を熱心に見る人、横目で見る人、話を詳しく聞いてくれる人、「ベテランを切るのはいかん」と声をかける人等、多くの関心が寄せられました。



憲法集会で物販と支援を訴える原告

5月3日、青空のもと江東区有明防災公園で開催された憲法集会には6万5千人が集まりました。JAL争議団は今年も物販のブースを出店し、憲法28条違反で強行された解雇をアピールしました。会場では物販とあわせ社長・社長の要請ハガキへの協力と支援を訴えました。航空連の仲間として豊洲までのデモ行進に参加し元気な声を響かせました。

5月20日～29日(25日・26日除く)には、5月30日の本社前行動に向けた関東キャラバンが取り組まれ、1都7県でJAL解雇争議の解決を訴えました。

6月18日の株主総会に向け、6月10日～14日(12日除く)の間はJAL本社前で座り込みを行います。原告団は力一杯の運動で争議解決の決断を迫っていきます。

2020年問題、AI・自動化などの対策を検討



基調講演した奥平顧問

2019グラハンセミナー

航空連がラン連は5月16日と16日、都内晴海の東京海員会館で「2019グラハンセミナー」を開催しました。テーマは「魅力ある希望の未来」です。JAL・ANAの2018年度決算と事業計画の概要、グラハン各社の動向、グラハン新技術、そして新たに首都圏発着枠拡大と東京オリンピックに焦点をあて、55年前に人員不足が大量の腰痛発生につながったことが

55年前の過ちを繰り返さない 人員不足・大量の腰痛発生

紹介されました。首都圏発着枠拡大、東京オリンピック、ペーシングビックによって急激な業務量拡大が予想される。万全な準備が急務。一方、新技術の導入は想像を超える速さで進んでいる。想像力を働かせる。想像力を働かせる。想像力を働かせる。

職場状況については、人員不足や安全・健康問題について具体的な資料を基にそれぞれの特徴を説明しました。あふれる働き方、めざすべき目標として、①人材確保と定着化の業務負担の軽減②安全な「労働者の人権や生活」の確保として機能させることを強調しました。

報告を踏まえた議論では2日間でのべ21名が発言。安全性低下の背景に横たわる人員不足やスキル低下、運航スケジュールに合わせた長短勤務、発着枠拡大で激化する作業と勤務バランスの問題、組織拡大に向けた職場とのコミュニケーション強化、交渉力強化と要求実現に向けた具体的なデータつきの必要性が確認されました。

2019年のセミナーから取り入れた体験学習では豊洲市場を見学。設置場所や周辺環境を見学しました。

様々な事態予想し万全な準備を

奥平顧問「労働強化で抱まれるグラハン・ドリングの職場改善へ向けて職場改善と企業価値向上への戦略を考える」。

奥平顧問「労働強化で抱まれるグラハン・ドリングの職場改善へ向けて職場改善と企業価値向上への戦略を考える」。

安全会議だより 121

臨時総会
2019年対官要請書を確認
JJPの客乗組合が新規加盟

航空安全推進連絡会議
は、2019年の対官庁
要請内容を決定する臨時
総会を5月26日開催しま



離陸前のジェットスター・ジャパン機。福岡空港

した。臨時総会では、各単組からの提案な議論を経て、2019年の「民間航空の安全確保に関する要請書」が承認された。要請書をもとに5月中旬から、国土交通省航空局を中心とした各関係省庁への要請を開始している。臨時総会では、ジェットスター・ジャパン（JJP）の客乗乗務員の組合「Jetstar Crew Association」（JCCA）から加盟申請があり全会一致で承認。新しい仲間を迎えました。JJPは現在、エアバ

施しており、そのアンケート結果から、1日4レグ（4区間）乗務での連動、5勤1休勤務の連続、休日は月8日間、月間乗務時間は100時間近くで、負荷の高い勤務が割り振られ、その改善を求める声があります。便間の機内清掃も客乗乗務員により行われていた。このことにより、10時間以上の長時間勤務や深夜の国際線往復勤務においても休憩の設定はありません。数年前からは勤務変更指示が無制限に行われるようになり、変形労働時間制の導入も無視した勤務変更が多発する状態が続いています。こうした勤務の実態は健康被害を引き起こし、航空の安全にも影響を及ぼすことが危惧されます。

入等労働環境を改善する取り組みは急務です。利益優先の経営が航空安全を脅かすことがないよう

う。安全会議は新しい仲間と共に健全な職場を目指し活動して行きます。

ためにここにいます。あなた方はデルタ航空の社員として、ベストの待遇を受けるに値します。労働組合は、あなた方の労働によって築き上げられたデルタ航空の誇りを追いつけたい。労働組合は協力と対話をもち、あなた方の職業価値を向上させるため、あなた方と会社の両方に利益をもたらします。我々はあなた方の望みをかなえるのを支援し、デルタ航空がチームの一員となることを歓迎します。今こそ行動を起こすときです。

職場の友人が、「来週屋久島に行くのよ。はじめてだし楽しみたいわー」と言ったのを何気なく聞いて、「それは楽しみなだね。雨が多いところだからさく歩くから楽しんでみてね」と別れまして。そして、次の週、テレビで「屋久島は50年に一度の大雨でたくさんの登山客が孤立している」と。さあ大変！ゲリラ豪雨はこないで。早速メールを入れたら、一日早く下山したので大丈夫だったそうです。さて、雨と言えは季節は春から夏へ、いろ

な果物や野菜が美味しい季節です。今年はタケノコが豊作して、我が家もタケノコで食卓にたくさん並べました。昨夜キャベツたっぷりの回鍋肉も美味しかったです。おなかいっぱい新聞をながめていたら番組の視聴率は、NHKの朝ドラ「なつめ」に続いて、「ボナンザ」が2着に入つたとあります。田舎の不便なボナンザに、軒下で寝る暮らしやドラマがあるのか、みなさん見ているのですね。気候も長くなり、10連休が終わったばかりですが、青空が輝くと、どこかに行きたいとムスミスします。しかし、米国と中国の関税をめぐる争いも不気味です。

IAM
デルタ航空CAの
組織化キャンペーン

ITFホームページより

成功に向けメッセージ届けよう

ITFニュース

国際運輸労連（ITF）は2018年のシンガポール大会で、航空運とアライアンス関係にあ

る米国のIAM（国際機械工・航空宇宙作業労働組合）のデルタ航空組織化キャンペーン支援が再確認されました。今年に入りITFは、米国外の客乗乗務員ステイ先のデルタ航空客乗乗務員に接し、世界の航空労組のコミュニティーに加わるように訴える運動を展開する方針を表明しました。デルタ航空は歴史的に組合嫌いであつた航空会社でもありま

す。IAMはこうした現状を是正べく数年前から組織化の準備を進めてきました。アメリカでは労働組合設立のハードルが高く設定されており、職場を代表する労働組合として認められるには、投票を通じて職場の過半数から賛同を得る必要があります。これまでデルタ航空経営は労働組合に対するネガティブキャンペーンを展開し、さらに投票活

動も監視する等徹底した妨害工作を行い組織化を阻止し続けてきました。今般IAMは航空運に対し、日本に業務を移したデルタ客乗乗務員に以下のメッセージを届けるよう要請を受けました。

デルタ航空の仲間の皆様へ
我々は、皆様に連帯し、この変化の時を祝う

航空運も組織化を無事成功に導くべく、できる限りの協力をしていきます。

は、我が家も自家用車はなくカーシェアをうまく利用します。職場の青年は、住むところはシェアハウスだと聞きました。近所のフリマフリーマーケットもよく利用します。不要品供出サイト、ジモティーなども見ると、スマホのアプリでたくさんの中古品の売買や買っさイトまで活用できます。カンパをもらって起業するクラウドファンディングなど、あつという間に当たり前の時代になっていきます。この他にもお金をかけなくても助け合つて生活する工夫やアイデアが満載です。

は、我が家も自家用車はなくカーシェアをうまく利用します。職場の青年は、住むところはシェアハウスだと聞きました。近所のフリマフリーマーケットもよく利用します。不要品供出サイト、ジモティーなども見ると、スマホのアプリでたくさんの中古品の売買や買っさイトまで活用できます。カンパをもらって起業するクラウドファンディングなど、あつという間に当たり前の時代になっていきます。この他にもお金をかけなくても助け合つて生活する工夫やアイデアが満載です。

儲け主義に反旗を翻す人が増えている

0円で生きている

鶴見 済 著

お金があれば！ああもっと豊かな生活ができるのにといつも考えているのですが、いやいや工夫すれば案外0円生活もあるそうです。

変化に乏しく、忙しい毎日が続く。フリーマン生活。あとどれくらいこの生活が続くのでしょうか。要所所所に楽しい目標があるか作ればよいの

ですが、なかなか難しいですね。テレビで「自然日記」や「小さな旅」「人生の楽園」「こんなところに住みたい日本」「YOUはなにに日本へ」などをながめると、ちょっと

俗世間から離れた暮らしがしてみたいですね。特に最近では政財界一体の政策で借金・非正規労働者の爆発的な増加で働人全体の暮らしがどんと厳しくなっています。この

ような時代にこの本、皆さんは読んでみましょう。知らず知らずのうちに儲け主義の資本主義に反旗を翻している人が増えているそうです。そういう



な果物や野菜が美味しい季節です。今年はタケノコが豊作して、我が家もタケノコで食卓にたくさん並べました。昨夜キャベツたっぷりの回鍋肉も美味しかったです。おなかいっぱい新聞をながめていたら番組の視聴率は、NHKの朝ドラ「なつめ」に続いて、「ボナンザ」が2着に入つたとあります。田舎の不便なボナンザに、軒下で寝る暮らしやドラマがあるのか、みなさん見ているのですね。気候も長くなり、10連休が終わったばかりですが、青空が輝くと、どこかに行きたいとムスミスします。しかし、米国と中国の関税をめぐる争いも不気味です。

は、我が家も自家用車はなくカーシェアをうまく利用します。職場の青年は、住むところはシェアハウスだと聞きました。近所のフリマフリーマーケットもよく利用します。不要品供出サイト、ジモティーなども見ると、スマホのアプリでたくさんの中古品の売買や買っさイトまで活用できます。カンパをもらって起業するクラウドファンディングなど、あつという間に当たり前の時代になっていきます。この他にもお金をかけなくても助け合つて生活する工夫やアイデアが満載です。